

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和元年度事業 点検・評価調書

4-Ⅱ-9

4-Ⅱ-9

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備		取組項目	ガイド窓口の設定
	節	Ⅱ ガイダンス機能・ガイド体制の充実		
事業(施策)名	9 ガイド窓口の設定		事業主体	佐渡観光交流機構
	事業実施期間	H28～R4	関連団体	佐渡市世界遺産推進課、佐渡市農業政策課、佐渡市観光振興課、佐渡市社会教育課、佐渡を世界遺産にする会
事業概要	【事業目的】 ○ガイド窓口の設定により、利用者の利便性向上を図る。			
	【事業内容】 ○予約受入窓口とガイド運営体制を整備する。			
R元 事業計画と実績	【元年度計画】 ●佐渡市が育成を行っている「金銀山ガイド」と、当機構が事務局を行っている「相川ふれあいガイド」のガイド同士の連携やガイド人員の補充などの協力体制の構築が必要である。 ●各ガイドが高齢化していて、実働ガイドが減少しているため各ガイドの人員増加を図る。			
	【元年度実績】 ●7月20日から11月4日の期間、「金銀山ガイド」と「相川ふれあいガイド」が連携し、北沢浮遊選鉱場ガイドを実施した。			
課題・今後の取組	【課題】 ■「金銀山ガイド」と、当機構が事務局を行っている「相川ふれあいガイド」のガイド同士の連携やガイド人員の補充など協力体制の構築が必要。			
	【今後の取組】 ■「金銀山ガイド」グループと相川ふれあいガイドの連携体制を構築する。			
事業評価	【事業の達成度】 [a (b) c] ◇計画どおり目標を達成できたことからBとした。			
	【事業実施の効果】 [a (b) c]			
	【総合評価】 [A (B) C]			

a: 進んでいる。高い。

b: 概ね順調。概ね適切。

c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。

B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。

C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。